

第4章 食品ロス削減に向けた基本的方向性

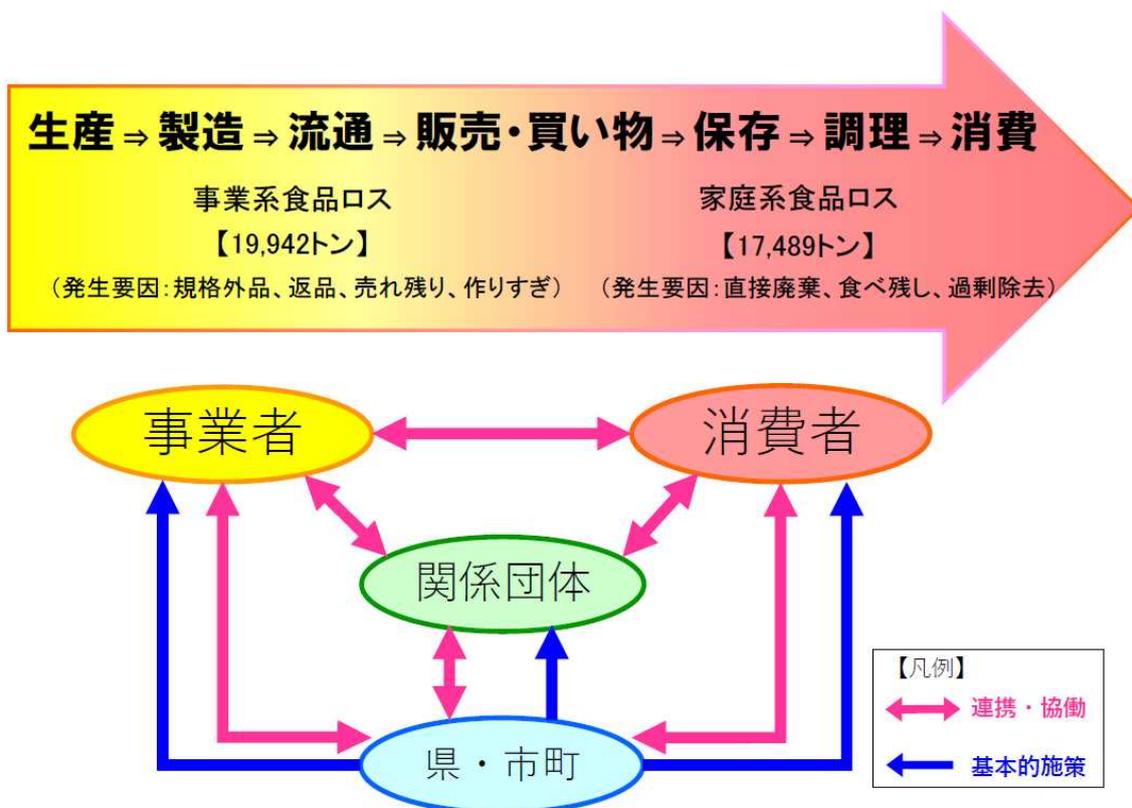
食品ロスを削減するためには、県民や事業者が食品ロスの現状と問題点、削減の意義について理解するとともに、その削減に向けた行動を実践することが必要です。

具体的には、

- ・食べ物を無駄にしない意識を持ち、
- ・食品ロスの現状とその削減の必要性について認識した上で、
- ・生産、製造、販売の各段階や買い物、保存、調理、消費の各場面において、食品ロスが発生していることや、
- ・消費者、事業者等、それぞれに期待される役割と具体的な行動を理解し、
- ・可能なものから具体的な行動に移す、

ことが求められます。

こうした理解と行動の変革が広がるよう事業者、消費者、県、市町、関係団体等の多様な主体が連携・協働することによって、食品ロスの削減を推進するものとしします。



食品ロス削減に向けた基本的方向性 概念図